

発表者11

バトゥナサン ガンバドゥラハ



● 出身・ルーツ

モンゴル

● 日本に来たのはいつ？

2014年4月3日

● 発表者コメント

最近はやっているスマホの人々の生活に及ぼしている影響について、自分のエピソードを紹介しながらお話ししたいと思います。

● 推薦者コメント 【公益財団法人アジア学生文化協会 アジア文化会館館長 布施 知子さん】

モンゴルからのガンバドゥラハ君(通称ガンバー君)は、今年3月末に当財団が運営する100名を超すアジアからの留学生が暮らす学生寮に入寮してきましたが、名前に負けず、何事にも積極的で、明るいところが評価され、早速、学生会の会長に推薦され、現在会長に就任して活躍しています。一方、東京大学で建築学を学んでいますが、専門の分野でも将来大きな夢を持つ素晴らしい若者です。今回のスピーチの内容に大変期待を寄せて、ここに推薦いたします。

スピーチタイトル 「スマホは人々をかえている」

皆様、こんにちは。皆様の中でスマホを持っている方はどのぐらいいらっしゃいますか？手を挙げてください。はい、ありがとうございます。ほとんどの方がスマホを持っていますね。さて、本日のスピーチでは、スマホが皆様の生活に及ぼしている影響について、自分のストーリーをご紹介しながらお話ししたいと思います。よろしくお願いいたします。

私はバトゥナサン・ガンバドゥラハと申します。モンゴルから参りました。初めて来日したのは2005年でした。その時の10日間の旅行で、日本で見たこと、体験したことは何でも新しく、日本って本当に素晴らしい国

だねと思うようになりました。あまり長い間日本にはいませんでしたが、当時私は日本人の2つの貴重な習慣に気付いたのです。

最初に気付いた日本人のいい習慣は、皆様の読書習慣です。日本人は家でも、電車やバスの中でもどこでも、本を熱心に読んでいました。自国であるモンゴルでは、バスの中で本を読んでいる人なんて一人も見なかったことのない私にとってそれは驚かざるを得ないことでした。そして、日本という大国がここまで発展できた秘密の一つは間違いなく国民の本を読む習慣だということが分かったのです。

その次に気付いたのは、日本人家族の暖かいコミュニケーションです。2005年の旅行の時、私は群馬県にある優しい日本人家族に泊めていただいて、初めて日本人と交流することができました。その時、家族のみんなが集まってご飯を食べながらいろいろ話したのは一番印象に残っています。毎晩、会社員のお父さんはお仕事の話は一切せずに、子供の学校のことについて聞いたり、アドバイスをしたりするのは意外な光景でした。なぜか分かりませんが、外国人の私にもその温もりが感じられたのです。

年月が経って2014年になると私は、また日本に留学生として参りました。今度、一番面白かったのは10年前の日本はどう変化したかをみることでした。そして、電車に乗ってすぐその素晴らしい日本は変わったことが分かったのです。なぜかという、電車の中で本を読んでいる人は10人のうち1人しかいなかったからです。残りの9人はスマホを持って、スマホで何かをやっていました。

最初私は“まあ日本人は読書好きだからスマホで電子書籍を楽しんでいるだろう”と思いました。よく見ると、ほとんどの人がスマホのゲームをやっていました。今、2017年になって本の代わりにスマホの画面を見つめるようになった人はもっと多くなりつつあるのではないのでしょうか。

また、スマホは家族のコミュニケーションにも影響があります。一昨年、私は、2005年に泊めていただいた群馬県の日本人家族を訪問しました。もちろん、10年間会わなか

った親しい人たちなので、あって非常にうれしかったです。しかし、その家族の何かが違っていました。それは、何だろうと観察してみると、家族の暖かいコミュニケーションがほぼなくなっていたのです。誰でもスマホやタブレットを持って、家族とあたたかい会話するどころか、画面を夢中に見つめていたのです。そして、自分の家族の代わりにスマホとコミュニケーションするようになったのを見て私は残念に思いました。

以上の2つの習慣を捉えてみてもこの10年間に日本社会と日本人は大きく変化してきたことが分かります。そうはいっても、日本社会と日本人を変化させているのは戦争のような大きいものではなく、スマホという小さいものです。確かに、スマホは人間が発明した機械の中で最も魅力的で、便利なものの一つです。しかし、スマホにはその素晴らしいとともに、様々な悪いところもあることを意識しながら利用したいものです。あくまでも、スマホをどの程度利用するかを個人が決めますから、スマホの魅力にはまらずに、日本人の貴重な習慣を取り戻すべきだと考えています。

● 来場者・発表者からの応援メッセージ

- ・バトゥナサンさん あなたのおっしゃるとおりです。鋭い指摘ありがとうございます。今後も日本の良い点、悪い点やこうしたらどうかとお知らせ頂ければと思います。
(川嶋えり子)
- ・バトゥナサン ガンバドゥラハさま 外国の方から見た日本素晴らしいスピーチでした。76才の私は、日本がどんどん変わっていくので、悲しく思う時もあります…が、がんばっている日本人の若者もたくさんいます。モンゴル一番行ってみたい国です。
(小谷和歌子)
- ・スマホのことは同じように思います。素晴らしいスピーチでした。(にしもと)
- ・バトゥナサン ガンバドゥラハさん スマホという小さなものによって毒され負の変化の起きている日本に大きな警鐘を鳴らして下さいました。素晴らしい発表でした。
(はまやみよこ)
- ・カッコイ！！！(イラスト)
- ・バトゥナサン とても素晴らしいスピーチでした！わたしたちが忘れがちなことも思い出させてくれました。ありがとう！(たなか)
- ・ガンバドゥラハ ガンバッテ下さい。(グレイス)
- ・あなたのスピーチをきいて「スマホ」だけで生活するのではなく、ときには「本」もよんでみようとおもいます。ありがとうございました。(サトウ ユウキ)
- ・自信满满、りっぱなスピーチ。
- ・ガンバドゥラハさん ガンバドゥラハさんはモンゴルと日本のことを比べている。日本の良さもいっていた。やはりスマホは人々をかえていると想った。(ホ ディビット)
- ・スマホを通しての日本の変化への観察が素晴らしかった。
- ・スマホは人々をかえている。本当におもしろい話でした。
- ・バトゥナサン様 建築学科で学んだことをどんな風に生かすのですか。
- ・電車の中での風景の変化に気づいていても、慣れが感覚を鈍らせているのでしょうか。ここ数十年で私たちの生活はとても便利になりましたが、引き換えに何かを失ってしまふ事は寂しいですね。これからも日本だけでなく、沢山の国で色々な変化があるのでしょうか。モンゴルはどうですか？

